

対象： 乳癌（進行・再発 2nd・3rd Line）

レジメン名： **SG療法**

コース目

患者ID：	
患者氏名：	

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m <sup>2</sup> )	年齢(歳)	性別

投与スケジュール：	1 コース 2 1 日
使用基準：	Day1：class B、Day8：class C

《 注意 》

適正使用ガイドに準じる。

※ **Infusion reaction**に要注意。 投与中はVital signのチェック(Monitor装着を推奨)

重度のInfusion reaction（アライキシ-様症状、血管浮腫、気管支痙攣、発熱、悪寒、呼吸困難、低血圧等）が発現することがある。2回目以降の投与時に初めて発現することもある。

※ **1.1～3.4mg/mLとなるよう、生理食塩液を調整すること（275～850mg/bodyなら調整不要）**

《 使用薬剤 》

サシズマブ ゴビテカン：トロデルビ（1V：200mg）

《 投与量 》

薬剤名	標準投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
トロデルビ	10 mg/kg	0.0		1,8

《 タイムスケジュール：開始時刻 》

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1,8；	1月1日(土)	1月8日(土)
0時00分	内服	アプレピタントカプセル 125mg 1×(1) トロデルビ開始1時間前頃
0時00分	内服	カロナール錠200mg 4T <b>点滴直前に内服</b>
0時00分	内服	レスタミンコーワ（10mg）5 T <b>点滴直前に内服</b>
0時00分	①	生理食塩液 50mL+パロノセトロン 1V+ファモチジン 1A + デキサート6.6mg 15分で点滴静注
0時15分	②	生理食塩液 100mL 45分で点滴静注
1時00分	③	生理食塩液 250mL + <b>トロデルビ 0mg</b> <b>3時間</b> で点滴静注 <b>0.00mL</b> (初回投与時は3時間。問題なければ次回から1~2時間に変更可)
4時00分	④	生理食塩液 50mL フラッシュ（投与後30分以上は患者の状態を観察）

REFERENCE

A.Barida, S.A.Hurvitz, S.M.Tolaney, et al. Sacituzumab Govitecan in metastatic triple negative breast cancer. N Engl J Med 2021;384:1529-41.

2024年12月度化学療法プロトコル審査委員会承認：2024年12月9日